



「じゃがいものうち」通信 NO.74. 2014.3.31

～障害者と共に生きる仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel. Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL:<http://www.minc.ne.jp/~npo-jaga> 代表 楯篤雄



モツチヨム岳とひまわり畑

平成25年度もう過ぎてゆこうとしています。25年という時間は、生まれた赤ん坊が大人になり、そしてまた赤ん坊を生む、概ね一世代の期間であるということに恥ずかしながらようやく気づきました。人生初めの25年は育てられる期間、その次の25年は育てる期間、その次の25年は自分自身に向き合う期間であり終末をも意識する期間でもあります。人生の一巡りの期間を何となく感じると、いろいろと思うところがあると思います。「人は何のために生まれてきたのか?」「幸せとは?」と言えば「青臭い!」と返されそうですが、先日のある新聞記事に究極の幸せとは「人に愛されること」「人に褒められること」「人の役に立つこと」「人に必要とされること」の四つであり愛されること以外は働くことよって得られると。たとえ寝たきりの介護を必要とする方々も「ありがとう」の感謝の言葉を伝えることにより介護者に元気を与えているとも書いてありました。高齢者も障害者もこの屋久島でいかに生きてゆくか、人の数ほど「幸せ」の数があると信じ、デイサービス「みんなのおうち」はワイワイ、ガヤガヤの大家族をめざし日々共に幸せ探しに試行錯誤しているところです。

今年度から屋久島町で自立支援協議会が始動しました、障害者の地域生活を支援するために関係機関、事業所、関係団体、官、民の協働で協議する会で、年間計画を立て取り組んでいます。また療育縄文では送迎サービスが開始され利用者さんも徐々に増えており、親の会の活動も積極的になり講演会等も開催しています。学童の方も「中種子養護学校の文教室等を考える会」も立ち上がり勉強会や講演会を開催し署名を集め請願を上げての動きが始まっています。高齢者や障害者が島を離れることなく安心して暮らせる屋久島創りを目差し、様々な方面からの動きが始まっています。

今こそ皆が手を繋ぎ大きな動きとなって障害者福祉が充実するために共に働きたいと思えます。

みんなのおうちコーナー

最近の「みんなのおうち」の様子

昨年の10月ころから新しく利用者さんが増えました。生活介護で2名。生活訓練で2名。介護保険では今年の2月から1名の方が。

この5名の方が増えたことで「みんなのおうち」は、ますます楽しく、賑やかな場所になってきました。

現在、「みんなのおうち」では、季節ごとの行事はもちろんのこと、日々の生活の中でも利用者さんとスタッフが一緒に様々な活動をしています。毎日の昼食のお手伝い（野菜切り、揚げ物、配膳、片付けなど）、みんなのお茶作り（よもぎ、びわ、グアバ、くわ、げっとうなどの葉っぱ摘み）、生産活動（タンカンジュース、豚味噌、がじゅつ、うこんなどのラベル貼り、塩のゴミ取り）、これらは障害の利用者さんを中心に活動しています。

高齢者の方々も一緒にできることを楽しんでます。ちぎり絵では折り紙などの色紙を小さくちぎったり、花の形に折ったりと細かい工作をしています。ラジオ体操、365歩のマーチ体操などの運動ではよく体を動かしています。輪投げ、サイコロ蹴り、ゴルフ、ボウリングでは点数を競って楽しんでます。風船バレーではスタッフも一緒に手足をよく動かし、へトへトになるまでラリーを続けることもあります。

このように高齢者も障害者も分け隔てなくスタッフとともに一緒に生き生きとした毎日を送っています。「みんなのおうち」が一步ずつ着実に、より良い形になるようスタッフも日々頑張っています。



吉田農園へ大根の収穫に行きました



若い力!マッシュポテトに挑戦



誕生日会で、切り紙の花がきれいですね

療育を見つめ直して

桜の咲く時期を迎え、出逢いと別れの季節でもあります。現在、児童デイサービスでも進学を迎えるお友達がいます。小さい頃から通ったデイサービスを卒園し、島から離れます。これが現実なのか…。と肩を落とし、デイサービス、支援学級を見つめ直しました。

デイサービスは、送迎がつくようになり、通うお子様も増えました。今までは親も一緒に通園し、終わるまで待っていなければなりませんでした。遠い方は一湊地区から…。

親の負担となる物が大きくて、なかなかデイサービスへの理解も少なく、しかし送迎がつくようになってからは、親の負担も少しは減り、余裕も出てきています。子供達も少しずつ自立心も芽生え、先生の御指導の元、苦手な事を自分のペースで克服していっています。

子供の成長の欠点を探し出すのはとても難しい事です。あれ？と思うような事があればいつでも「デイサービス縄文」へお越し下さい。悩みは解決するまでずっと残ります。

子供の笑顔を失う事ないように親は誰もが必死です。私自身も縄文に通う娘と共に学び、成長させていただいています。屋久島で子育てをしたい！この気持ちを根気強く持ち、屋久島で子育てしてよかったー。と思えるよう日々努力し頑張っていきたいと願うところです。小学校の支援学級の指導にも島では差があります。

1つずつ、1つずつ見つめ直し、よい学校生活が送れるようになればと思います。子供を守れるのは親です。悩んでる親御さん！一度縄文へ遊びに来て下さい。

児童デイサービス「縄文」親の会代表 松崎 香織

〔原区にある児童デイサービス「縄文」では、発達につまずきのある児童に手厚い支援を行っています。〕

2013年度行事報告

4月10日(水)	ウコン掘り	(14名)
4月28日(日)	産業祭出店	(23名)
5月24日(金)	総会「じゃがいものおうち」	
	出席者34名(うち書面表決者24名)	
7月12日(金)	倉庫片づけ	(7名)
7月27日(土)	温泉祭り出店	(15名)
8月27日(火)	お楽しみ感謝祭	(30名)
10月28日(月)	安房小学校4年福祉交流	
	「じゃがいも植え付け」	
12月6日(金)	安房小福祉交流	
	「視覚障害者」	
12月21日(土)	お餅つき会	
	(34名&みんなのおうち11名)	
1月29日(水)	倉庫片づけ	(3名)
2月21日(金)	安房小学校6年福祉交流	
	「タンカンジュース作り」	
2月24日(月)	安房小学校4年福祉交流	
	「じゃがいも収穫作業」	
3月10日(月)	安房小学校6年福祉交流	
	「お別れ会食」	

瓶タンカンジュース	3回
タンカンジュース 一斗缶	5回
パックタンカンジュース	14回
クッキー作り	8回
豚みそ作り	4回
麦味噌作り	1回
おおぼらかい	毎月第4火曜日
	(1月から第4木曜日に変更)



2014年度行事

■ふるさと産業祭り準備作業

日時 4月26日(土) 午後1:00~4:00
場所 じゃがいものおうち
持ち物 皮むきの出来る包丁かピーラー

■ふるさと産業祭り

日時 4月27日(日) 午前9:00~午後3:00
場所 尾之間屋根付きゲートボール場
(町民すこやかふれあいセンター)

■おおぼらかい

日時 4月24日(木) 午後1時30分
場所 みんなのおうち

■総会

まだ未定です。
4月の「おおぼら会」案内にてお知らせ致します。

感謝録 (H25. 3. 16~H26. 3. 20 敬称略・順不同)

いつもご支援、ご協力ありがとうございます。(じゃがいものおうち、みんなのおうち)

岸久子 飯田かおる 脇田武志 畑裕美子 小林淑子 長瀬真弓 村本栄子 桑山道子 乾恵二郎
高山宏子 井上正勝 田部明乃 岡本加代子 石田尾拓夫 仁科富子 神崎彩子 松本三枝子
高田姫女正 小川裕子 古居智子 須見洋子 沼田澄江 日高恵子 渡辺一夫 渡辺まみよ 和田洋一
鎌田智秀 岩川みい子 池上純久 古里祐二 田端信明 泉清治 吉田克雄 笹川博樹 藤原金太郎
中井信司 日高典子 岩川トク子 大塚悦子 高見澤義男 日高ヨリ 岡留千賀子 松本活栄
手島エミ 鈴木捷二郎 日高タズ 田部佳世子 石川ひとみ みっちゃんばい



訃報

下記の会員の方がご逝去されました。

心よりご冥福をお祈り致します

「楯陽子さん」「日高イツさん」「笹川芳子さん」「白石武さん」

新年度の会費とボランティア保険代の納入についてのお願い

日増しに春の訪れが感じられる候となりました。皆さん如何お過ごしですか。

日頃から、当会の運営にご協力を頂き感謝しております。皆様の会費が貴重な財源になり、お陰様でいろいろな活動を展開する事が出来ました。今年度のご支援を感謝し、引き続きご協力をお願い申し上げます。つきましては、新年度の会費をボランティア保険の手続きの関係上、4月20日までに同封の口座込用紙(払込取扱票)にてお振り込みいただくか、直接「じゃがいものおうち」へご持参下さいませよう重ねてお願い申し上げます。

●年会費

☆一般会員 一口 3,000円
(家族で二人目以降 一口 1,000円)
(ボランティア保険 一口 300円)

☆賛助会員 一口 2,000円
☆賛助団体会員 一口 5,000円

※賛助会員の方もボランティア保険に加入出来ます。

編集後記

ぎりぎりにならないと腰が上がらない、悪い癖です。なんとか74号通信発行できました。一つ一つもっと詳しく紹介したかったのですがこの度はこれが限界でした、お許し下さい。今後ともご愛読よろしくお祈り致します。(楯)